

平成23年度 第1回CCC体育学グループ運営委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成23年4月15日
- II. 場所 : 私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者 : 石塚委員, 手塚委員, 田附委員
(事務局) 井端事務局長, 森下主幹, 松本職員
- IV. 検討内容
 1. 事務局から、私立大学情報教育協会が公益法人になった旨、および、その事業内容について説明があった。
 2. 事務局から、新聞記事や資料を基に、「対話型授業」、「高等教育におけるキャリア教育・職業教育」、「今、求められる力を高めるための学習指導」について説明があった。
 3. 学士力に必要な ICT 活用の授業モデル案について、以下の通り、議論が行われた。
 - 1) 到達目標2について、委員より資料を基に報告があった。
議論とまとめは、以下の通りである。
 - (1) 5年後の授業を見据えた新たな展望となる授業モデル案が期待される。
 - (2) 授業モデルの提案対象は、一般体育ではなく、体育・スポーツ科学専門教育が対象となる。
 - (3) そのため、受講生自らがスポーツを媒体としたコミュニケーション能力を高めるだけでなく、さらにそれを指導に展開できるビジョンがモデルに必要。
 - (4) その到達度を確かめるために、たとえば、紙ベースによる評価だけでなく、ポートフォリオなどを用いて4年間にわたる行動スタイルの評価などができるような方策の検討も、授業モデルに考慮する必要がある。
 - 2) 到達目標3について、委員より資料を基に報告があった。
議論とまとめは、以下の通りである。
 - (1) 個人種目や団体種目の違いはあるが、提案のあった授業モデル案は、概ねすべてのスポーツ種目に適応できる。
 - (2) この到達目標を達成するにあたり、対人スポーツやボールスポー

ツに比べてパフォーマンスに影響する要因が少ない個人種目，たとえば陸上競技などを授業モデルに使うことが、授業を展開するのに望ましい。

(3) 今後の授業内容の可能性として，〈ICT などを活用しコーチングの専門家の話を聞く機会の活用〉、〈NTC からの ICT を用いた事例紹介〉，〈ソーシャルネットワークの利用〉などの例が挙げられた。

3) 今後の議論は，「授業のねらい」を中心に行い，各大学や教員の裁量が大きい「授業計画」については、あくまでも緩やかな例示とすることが確認された。

4. 次回までの課題

今回の議論を踏まえ，さらに洗練された授業モデル案を作成し，次回に検討する。

5. 次回の開催予定

日時：平成 23 年 6 月 27 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室